

連 携 の 輪

企画経営情報部長 馬場 明雄



現在、岩手県総合計画審議会において、第3次岩手県総合発展計画に代わる新しい総合計画の基本方向について審議が続けられているが、新しい計画のキーワードの一つに「連携」がある。県民の行政ニーズが多様化し、施策を講ずるにあたり、個別の部署や組織などだけでは、対応が難しい課題が多くなっている中で、効率的にしかも着実に解決して行くためには、従来の縦割りではなく、横の連携によって取り組むことが必要な時代であることが、その背景にあると思われる。この横の連携は、当センターでも研究を効率的に進め、成果を早期に得る上で非常に大切なことで、最近では、他の研究機関との連携によって地域からの要請に応える課題が増えており、その代表例が品種開発である。

具体的には、酒造好適米が工業技術センター及び酒造業界との連携によって、また、花きが生物工学研究所との連携によって、本県オリジナル品種の開発が進められており、その成果が着実に得られて来ている。

一方、当センター内部においても、従来の四試験場の統合によるメリットを大いに発揮する観点から、各部門、各研究室の連携によるプロジェクト研究に取り組むこととし、現在、家畜排泄物の有効利用に関する研究、水田転作営農の確立に関する研究を進めているところである。

また、平成10年度から新たに、岩手大学農学部との協力を得て、基盤整備の多面的効果測定手法の開発に関する研究に着手することとしている。更に、行政部門との連携により地域課題の解決を支援するため、県内12の地方振興局管内全てに「21世紀型農業経営モデル実証試験地」を設け、地域農政の一翼を担うこととしている。

今後、こうした連携の輪を広げ、より早く、地域の皆さんに喜んでいただける成果に結びつけていく必要があると考えている。

==== 企画経営情報部紹介 ====

〈企画情報室〉

各部・研究室が有機的な連携を取り、効率的な試験研究を推進するため、的確な研究企画（研究ニーズの把握と課題の選定）、進行管理（研究評価等の実施）及び成果管理（成果評価及び迅速普及等）を行うなど研究の入口と出口の両側面を担当している。また、総合農業情報システムの管理運営のほか、システムの運用を通して、生産者等への迅速な情報提供を行うこととしている。

〈農業経営研究室〉

農業構造の変革に対応した地域営農方式の構築を目指すとともに、企業の経営体における経営管理方式の確立に取り組んでいるほか、新技術の経営経済的評価及び地域への導入定着条件について研究している。

また、農家や地域・集落の動き、変化を的確に捉え、県農政推進に必要な資料や考え方を提示するとともに、調査対象となった農家の経営改善方策や地域の活性化方策を提言できるような調査研究を行っている。

〈マーケティング研究室〉

県産農畜産物の有利販売を行うための市場分析と流通戦略に関する研究を行っている。また、中山間地域の活性化方策の解明に取り組んでいる。

マーケティング研究は、供給過剰基調にある農畜産物の流通環境下で、県産品の有利販売を図るため、主に市場、消費者を対象に、その動向、ニーズを把握・分析し、その成果を施策展開と技術開発の両面に活かすこととしている。



さまざまな行事の企画も行う



パソコンによる経営分析



マーケティングの現地調査



独自開発のソフトも多数ある

農業試験研究推進会議調整会議開催

平成10年1月8日、県庁農政部各課や生物工学研究所、農業大学校などの出席のもと農業試験研究指針会議調整会議が開催された。

従来、農業試験場、園芸試験場などそれぞれで開催していた会議が、センター発足に伴い全ての試験研究課題（全77課題）を網羅して協議することとなった。これによって、効率的な会議の運営が実現されたほか、様々な分野の研究成果について集中的に知ることが可能となり、専門分野以外の意見などに触発された新たな着想による調整が実現された。

なお、この会議での協議結果を受けてさらに検討を加え、3月11日の農業試験研究推進会議で今年度の最終的な成果がまとまる予定となっている。



センターでの会議の様子

岩手県農業研究センター公開セミナー開催 「農林業と環境の調和を考える」

船越昭治氏（元岩手大学学長、現財団法人岩手県文化振興事業団理事長）



平成10年1月27日、岩手県林業技術センターの後援により、第2回公開セミナーが開催された。講師の船越理事長から、「農林業を一体と考えて行くことが大切である」こと、「岩手の強さは地域コミュニティ（共同体）にある」ことなどを内容とした示唆に示唆に富んだ講演をいただいた。

総合討論では、林業技術センター森林資源部深澤主任専門研究員が「環境にやさしい機械化林業」、当センター生産環境部武田環境保全研究室長が「環境にやさしい農業技術開発」と題して話題提供を行い、終了予定時間を大幅に越えるほど討論が白熱した。

なお、次の公開セミナーは3月3日（火）13時30分より、農産物加工、農産物等の販売戦略などについて（株）八木澤商店の河野社長に講演を頂くこととしている。

増田知事県北農業研究所視察



職員と知事の合同写真

平成10年1月12日、増田知事が県北農業研究所を初めて視察した。

岡島所長が、県北農業研究所ではやませ地帯や高標高地帯の農業振興に寄与できる新技術の開発研究等を積極的に実施していることを説明した。

知事は、県北、沿岸地域の振興は本県にとって重要な課題であり、是非とも研究成果を生産現場に早く活かせるようにしてもらいたいと語った。

2月行事予定

農業研究センター

- 12 第2回技能員研修（～13日） いこいの村
- 病害虫防除関係者研修会（～13日） ホテル志戸平
- 畜産関係所長・課長等会議 盛岡市
- 13 東北農業試験研究推進会議（評価情報） 東北農試
- 地域基幹推進会議（畜産） 東北農試
- 16 情報化研修会 中会議室
- 17 陸前高田 農業シンポジウム 陸前高田市
- 地域農業振興に関する研究会（～21日） 東京都
- 18 りんごセミナー 農研センター
- 情報化研修会 中会議室
- 19 いわて純情米技術対策会議 サンセール盛岡
- 20 拠点試験地運営会議 花泉町
- きおう研究会総会 農研センター
- 23 企画運営会議 所内セミナー 大会議室
- 24 北上地方会計事務担当職員研修会 中会議室
- 27 岩手県施肥合理協議会成績検討会 盛岡市

3/3 公開セミナー 大会議室

- 4 設計会議（農産）
- 5 設計会議（園芸～6日）
- 10 設計会議（経営）
- 設計会議（環境）
- 11 農業試験研究推進会議 盛岡庁庁
- 12 専門セミナー 中会議室
- 設計会議（畜産）

病害虫防除所

- 10 平成9年度後期園芸畑作担当者会議 サンセール盛岡
- 12 病害虫防除関係者研修会（～13日） ホテル志戸平
- 16 環境保全型事業（りんご）実績検討会 大東町
- 17 リンゴカメムシ棲息調査 大東町
- 18 農林航空防除事業推進会議（～19日） つなぎ「ホテル大観」
- 19 植防事業実績（年報）所内検討会（～20日） 農研センター
- 20 植防事業実績（年報）所内検討会

IBCラジオ農業最前線放送予定

月～金 午後0時55分～

- 2/9 豚の柔統造成とその利用について①・②・③・④
- ～12 畜産研究所 藤原哲雄
- 2/16 りんご果実の貯蔵法①・②
- ～17 生産環境部 佐藤博美
- 2/18 野菜の栄養成分と肥培管理①・②
- ～19 生産環境部 石川美佳子
- 2/23 県北に適した花きの栽培 県北農業研究所 佐藤正昭
- 2/24 畑輪作の計画 県北研究所 萩内謙吾
- 2/25 (未定) 県北研究所 高橋好範
- 2/26 キャベツの栽培技術の要点 県北研究所 菅原英範
- 3/2 農産物の需給動向について①・②
- 企画経営情報部 菅原豊司

「おはよう今日も元気で」内容

午前6時50分～

- 2/13 酒用の米の育種 農産部 富山 均
- 2/20 キャベツ「いわて春みどり」の栽培について 園芸畑作部 作山一夫
- 2/27 トウモロコシの播種準備（仮題） 畜産研究所 多田和幸
- 3/6 「かけはし」の品質向上 県北農業研究所 柏原一成
- 3/13 農業におけるマーケティングの必要性 企画経営情報部 佐々木健治

主な来所者

J A前沢、青森県七戸町農業研究会連合会、胆沢園芸協会、福島地域農業改良普及センター、栃木県農産課、いわて農業国際化対応研究会委員、花泉町夏川地区ほ場整備事業推進委員会、折壁農家組合、岩手県立農業大学校